

HDビデオ会議システム 操作説明書

2010.08 Version.1



目次

1. 各大学のシステムの立ち上げ	1
1.1 はじめに	1
1.2 機器接続の確認①	2
1.3 機器接続の確認②	3
1.4 HDビデオ会議システムの電源を入れる	3
1.5 起動時の表示画面	4
1.6 カメラのプリセット設定と確認	5
2. 他大学との接続	7
2.1 相手拠点に接続	7
2.2 映像画面の表示と切り替え	10
2.3 音声の送信	14
2.4 プレゼンテーション画像の送信と解除	16
2.5 映像と画像の画面パターン設定	17
3. 各大学のシステムの終了	18
3.1 通信の切断	18
3.2 電源を切って終了	20
3.3 電源を切らずにスタンバイモードにする	21
3.4 周辺機器の電源を切る	21
4. その他	22
4.1 音声、ビープ音への対応	22
5. HDビデオ会議システム Q&A	23
6. 参考資料	27
6.1 リモコン操作ガイド	28
6.2 ダイレクトダイヤルを使った簡単接続ガイド	29
6.3 マイクミキサー音量設定	30
6.4 ライブ型遠隔授業の流れとメッセージボード	31

ライブ型遠隔講義 を支援する HDビデオ会議システム

岡山オルガノン15大学間で、各大学の教室からネットワークを介して、ライブ配信(生中継)するシステムです。

遠隔で、お互いの映像、音声、画像を中継し、双方向コミュニケーション型遠隔講義を支援する、HDビデオ会議システムの操作をスムーズに行うための説明書です。

1. 各大学のシステムの立ち上げ

1.1 はじめに

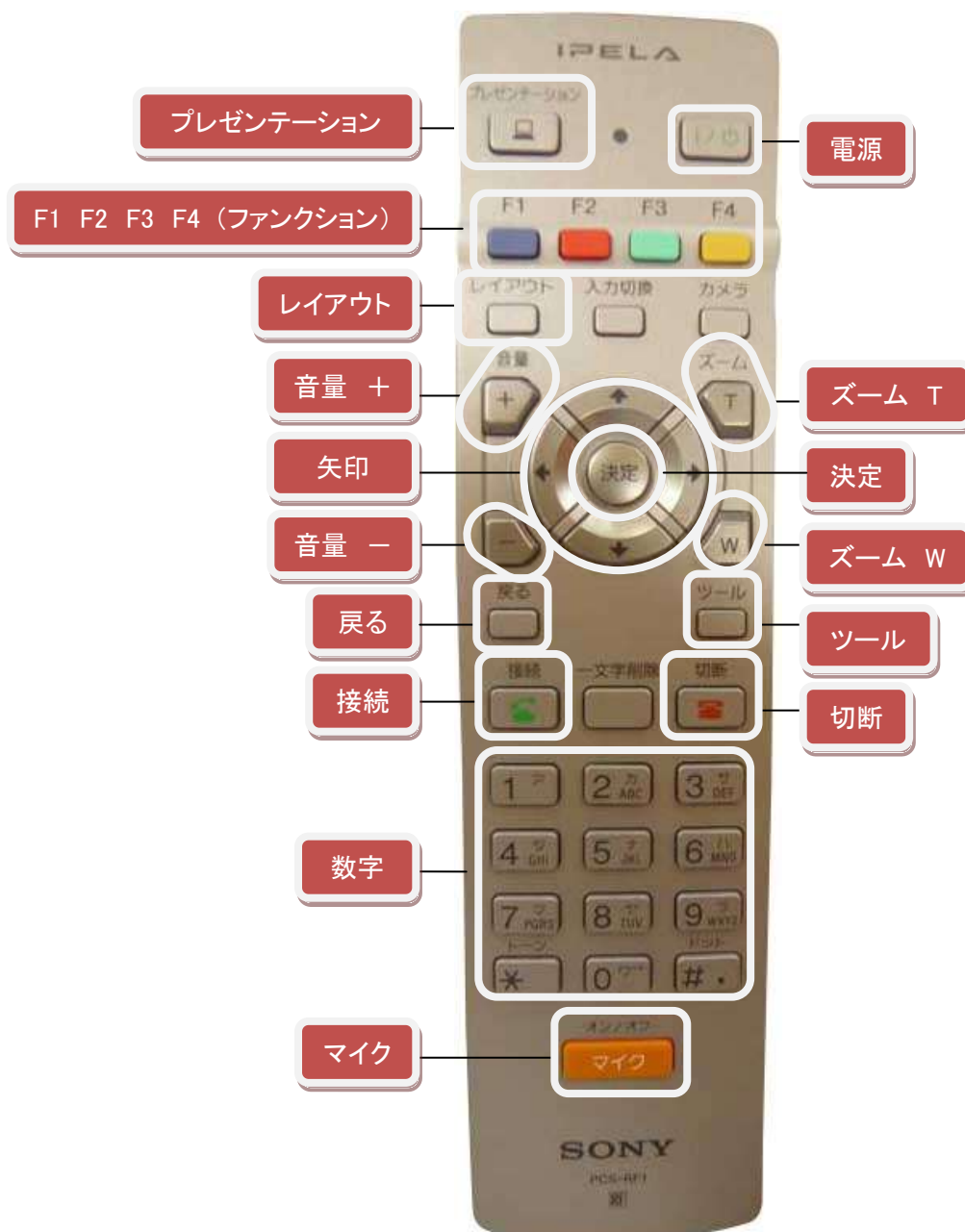
(1) 表記について

- ・ 自分側を「自拠点」と呼びます。相手側を「相手拠点」と呼びます。
- ・ 接続した側を「親拠点」と呼びます。接続された側を「子拠点」と呼びます。

(2) 配信について

- ・ 本説明書は配信する大学が行う操作方法を記載しています。
- ・ 受信する大学が行う操作方法は、「1.各大学のシステムの立ち上げ」から「1.6 カメラのプリセット設定と確認」(1～6 ページ)と「3.2 電源を切って終了」(20 ページ)をご覧ください。

(3) リモコンの主な名称



1.2 機器接続の確認①

使用する周辺機器がHDビデオ会議システムに接続されていることを確認して、周辺機器から電源をいれます。

※ 周辺機器の内容は、使用する環境によって異なります。

周辺機器の例:PC、書画カメラ(OHC)、スピーカー、マイクロホン、ペンタブレットなど



無指向性マイクロホン



ペンタブレット



PC、書画カメラ(OHC)など

1.3 機器接続の確認②

HDビデオ会議システムとカメラが、ターミナルケーブルで接続されていることを確認します。



1.4 HDビデオ会議システムの電源を入れる

HDビデオ会議システムの本体正面の電源ボタンを押して電源を入れます。



※ 各部の詳細説明は、別冊「HD ビジュアルコミュニケーションシステム」取扱説明書の「各部の名称と働き」(245 ページ)をご覧ください。

1.5 起動時の表示画面

(1) 起動には 2 分ほどかかります。起動中は下記のような画面が表示されます。



(2) 起動が完了すると下記のような画面が表示されます。



1.6 カメラのプリセット設定と確認

- (1) リモコンの「レイアウト」ボタンを押して、接続画面を非表示にすると下図のようなカメラ映像になり、カメラアングルを調整できます。



- (2) リモコンの「矢印」ボタンでカメラアングルを調整し、プリセットしたい「数字」ボタンを4秒程長押しすると、下図のように「プリセット1番に登録されました。」と表示され、アングルが登録できます。登録はリモコンのボタン「1」から「6」の数字にプリセットができます。

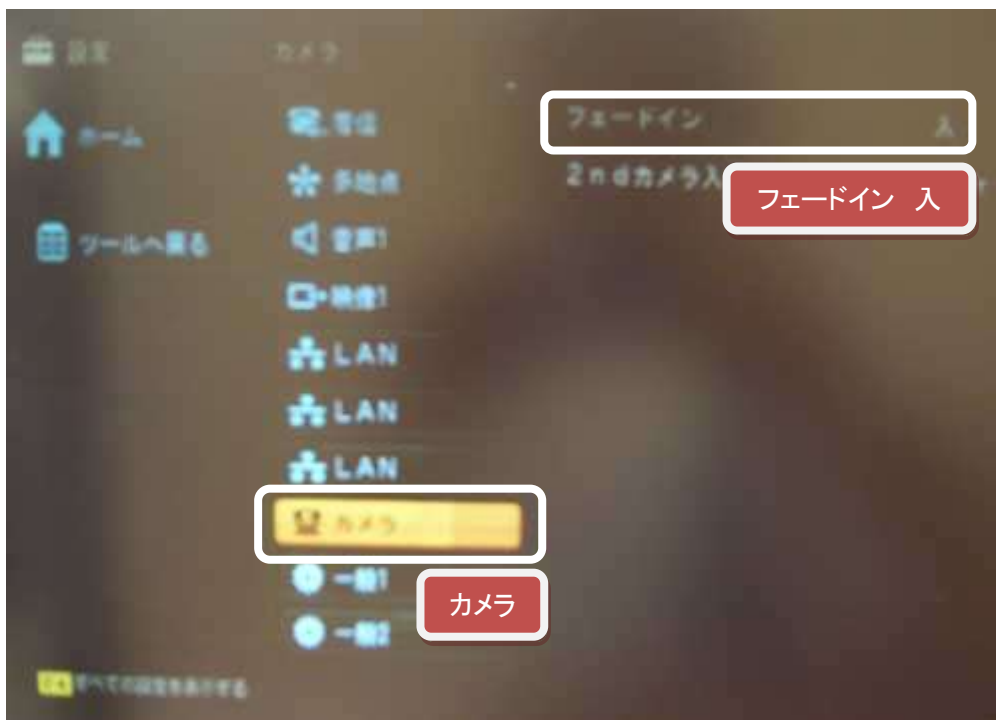


- (3) ズーム調整はリモコンの「ズーム」ボタンの「T」または「W」を押して調整します。
- (4) 一度プリセットした数字を長押しして登録し直すと、前回の登録は消えて上書きされます。
- (5) 登録したプリセットを確認するには、リモコンの「数字」ボタンを押します。登録したカメラアングルに切り替わります。

「フェードイン」効果

- (1) カメラ切り替えを「フェードイン」効果に設定するには、リモコンの「ツール」ボタンを押します。
- (2) リモコンの「矢印」ボタンで、メニューの「カメラ」(下図)を選択します。
- (3) 次に「フェードイン」(下図)を選択します。
- (4) 「入」を選択して、リモコンの「決定」ボタンを押します。
- (5) 最後に「保存」を選択して、リモコンの「決定」ボタンを押します。一度「フェードイン」に設定すると、毎回設定する必要はありません。

※「フェードイン」の設定は、通信中に行えません。



2. 他大学との接続

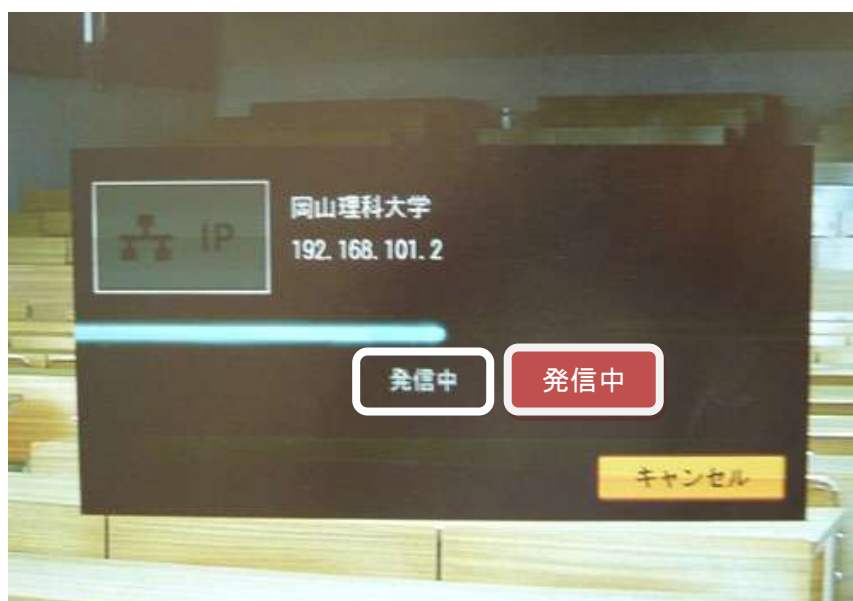
2.1 相手拠点に接続

接続方法①

- (1) リモコンの「F1」から「F4」(ファンクション)ボタンに登録した拠点がある場合、リモコンの「F1」から「F4」のどれか1つを押します(下図)。



- (2) 接続を始めます。しばらく「発信中」(下図)と表示された後、接続が完了します。



※リモコンの「F1」から「F4」ボタンを使って 4 拠点まで登録できます。登録や変更方法等は、別冊「HD ビジュアルコミュニケーションシステム」取扱説明書の「アドレス帳に相手を登録する」(134 ページ)をご覧ください。

※自拠点と相手拠点は、あらかじめ接続時間を決めておきます。時間の余裕を持って機器の起動をしておきます。

※接続ができない場合は、相手拠点の準備が整っているか電話等で連絡をして確認します。

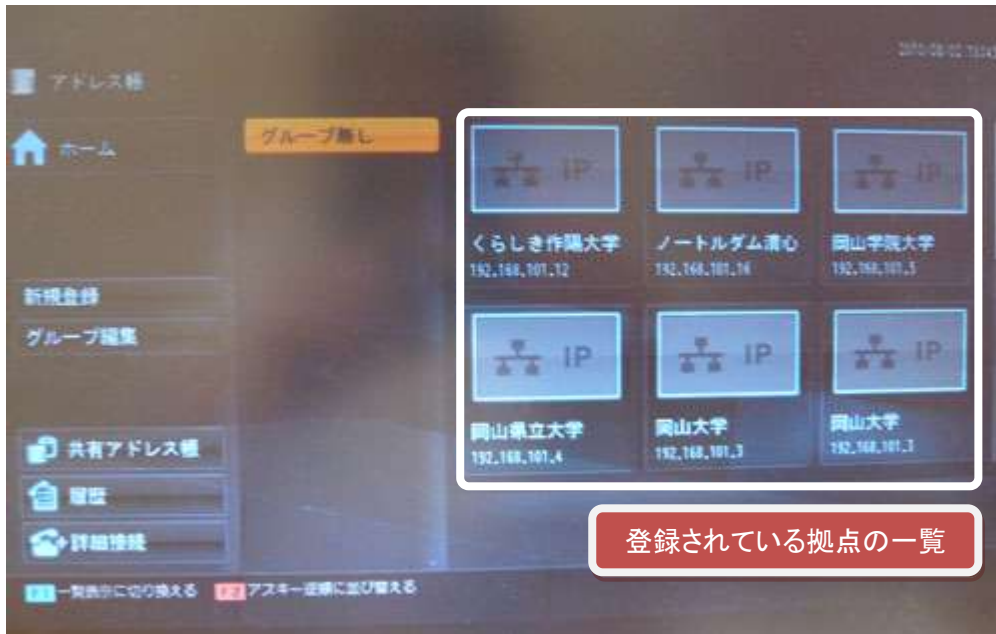
接続方法②

- (1) リモコンの「接続」ボタンを押します。
- (2) リモコンの「矢印」ボタンで「アドレス帳から選ぶ」を選択して(下図)、リモコンの「決定」ボタンを押します。



- (3) 通信したい拠点をリモコンの「矢印」ボタンで選択します(次ページ図)。

(4) リモコンの「決定」ボタンを押します。



(5) 通信が開始します。しばらく「発信中」と表示された後、接続が完了します。相手拠点が複数の場合、再度拠点をリモコンの「矢印」ボタンで選択して同様の順序で接続します。

接続方法③

(1) リモコンの「接続」ボタンを押します。

(2) リモコンの「矢印」ボタンでメニューの「履歴から選ぶ」を選択して(下図)、リモコンの「決定」ボタンを押します。



(3) リモコンの「矢印」ボタンで接続したい拠点を一覧から選択して(下図)、リモコンの「決定」ボタンを押します。

(4) 通信が開始します。しばらく「発信中」と表示された後、接続が完了します。



2.2 映像画面の表示と切り替え

相手拠点が1拠点の場合の一画面表示

相手拠点が1拠点の場合、接続すると相手拠点のカメラ映像が一画面(下図:例)で表示されます。

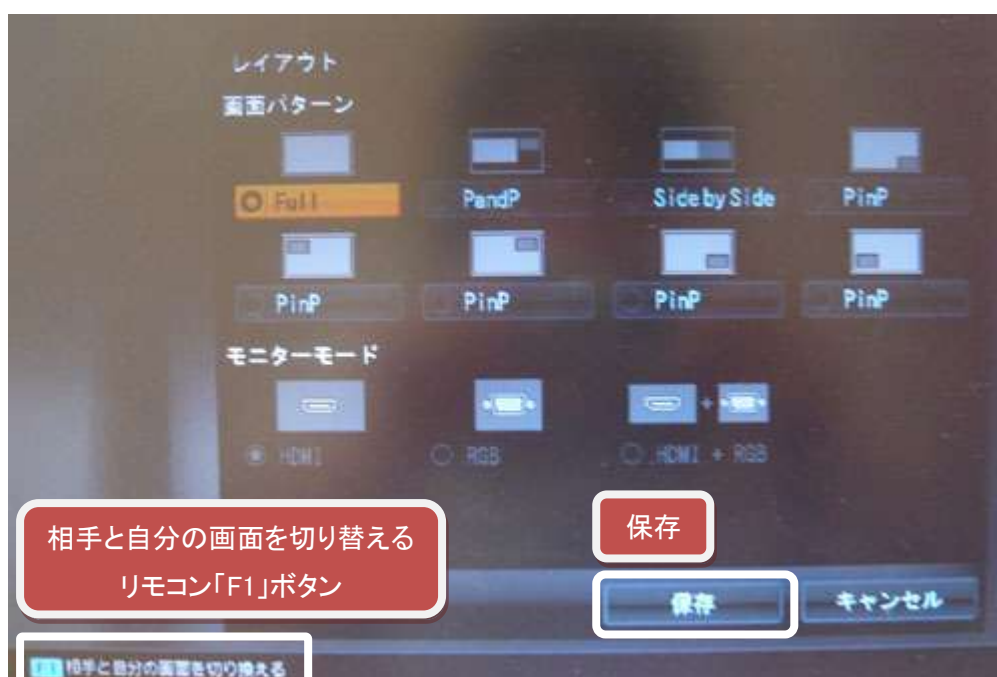


※相手拠点では、自拠点のカメラ映像が一画面で表示されています。

※相手拠点が1拠点のみの通信の場合、分割画面は表示できません。

相手拠点が1拠点の場合の画面の切り替え

- (1) 自拠点と相手拠点の映像画面を切り替えるには、リモコンの「レイアウト」ボタンを押します。
- (2) リモコンの「F1」ボタンを押します。

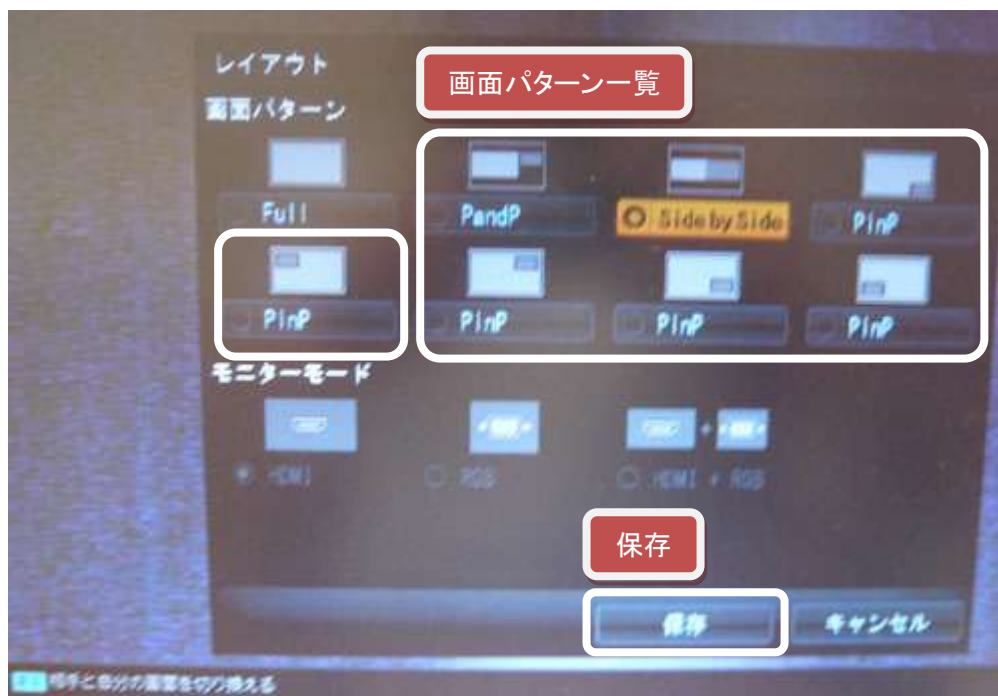


- (3) リモコンの「矢印」ボタンで「保存」を選択して(上図)、リモコンの「決定」ボタンを押します。または、リモコンの「レイアウト」ボタンを押します。

相手拠点が1拠点の場合の自拠点と相手拠点の同時画面表示



- (1) 自拠点と相手拠点の画面を同時に表示するにはリモコンの「レイアウト」ボタンを押します。
- (2) リモコンの「矢印」ボタンで「画面パターン」の一覧(下図)から表示パターンを選択して、リモコンの「決定」ボタンを押します。



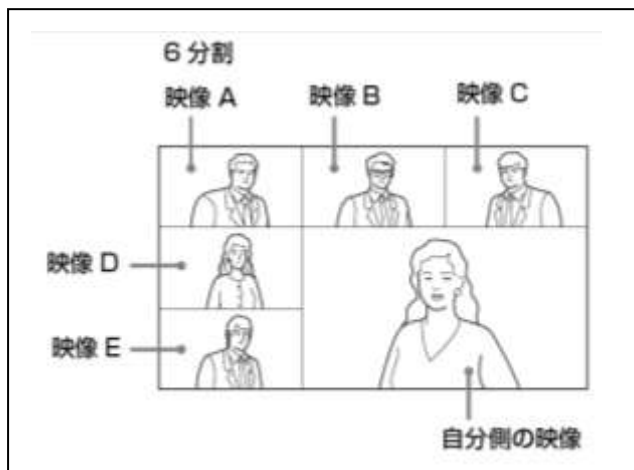
- (3) リモコンの「矢印」ボタンで「保存」(上図)を選択して、リモコンの「決定」ボタンを押します。

※レイアウトの「画面パターン」はローカル設定であり、子拠点には反映(送信)しません。

相手拠点が2拠点以上の場合の分割画面の表示

相手拠点が2拠点以上の場合、接続すると自拠点と相手拠点の分割画面が表示されます。

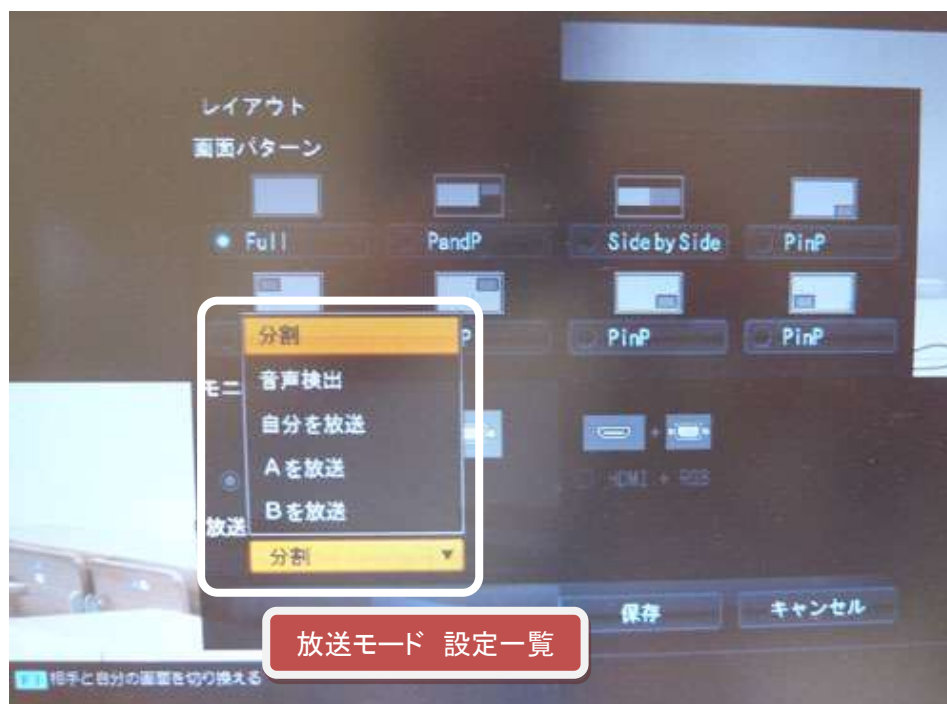
下図のように、映像Aから映像Eの場所へ接続順に相手拠点の映像が表示されます。自拠点の映像は、右下に表示されます。



※分割画面は3画面(3拠点)から6画面(6拠点)まで表示できます。

相手拠点が2拠点以上の場合の表示画面の設定 ※接続をした親拠点のみ設定が可能
レイアウトの「放送モード」設定で、表示したい拠点のカメラ映像に切り替えることができます。

- (1) リモコンの「レイアウト」ボタンを押します。
- (2) リモコンの「矢印」ボタンで「放送モード」設定一覧(下図)を表示させます。



- (3) 「分割」を選択して保存すると、「分割画面」に切り替わります。
- (4) 「音声検出」を選択して保存すると、発声した拠点の画面に切り替わります。
- (5) 「自分を放送」を選択して保存すると、自拠点の画面に切り替わります。
- (6) 「A を放送」を選択して保存すると、「映像 A」に該当する拠点の画面に切り替わります。

※相手拠点が 5 拠点の場合は、「放送モード」一覧に「E を放送」までが表示されます。

※放送モードで設定した画面は、子拠点に反映(送信)されます。

2.3 音声の送信

- (1) ハンドマイク、ピンマイク、無指向性マイクロホン等マイクを使用して、相手拠点に音声を送信されるか確認します。
- (2) 音量を調整するには、マイクミキサーのビデオ会議音量を送出するつまみを回します。詳細は、30 ページの「マイクミキサー音量設定」をご覧ください。

※マイクミキサーのつまみの設定位置は、各設置環境によって異なる場合があります。



音声を送信できない場合①

無指向性マイクロホンを使用する場合の設定方法

- (1) リモコンの「ツール」ボタンを押します。
- (2) リモコンの「矢印」ボタンでメニューから「音声」を選択します。

(3) リモコンの「矢印」ボタンで「音声 1」から「基本設定 1」の「音声入力」を選択します(下図)。



(4) 「MIC」を選択して(上図)、リモコンの「決定」ボタンを押します。

(5) 「保存」を選択してリモコンの「決定」ボタンを押します。

(6) 無指向性マイクロホンの音声をミュートにするには、リモコンの「マイク」ボタンを押します。

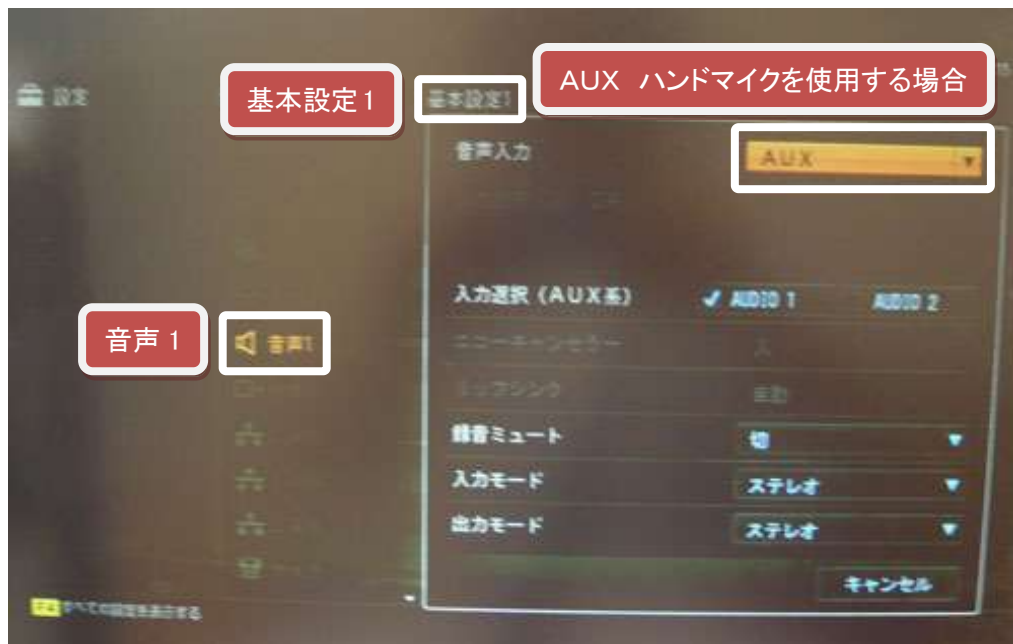
音声を送信できない場合②

ハンドマイクを使用する場合の設定方法

(1) リモコンの「ツール」ボタンを押します。

(2) リモコンの「矢印」ボタンでメニューから「音声」を選択します。

(3) リモコンの「矢印」ボタンで「音声 1」から「基本設定 1」の「音声入力」を選択します(下図)。



(4) 「AUX」を選択して(上図)、リモコンの「決定」ボタンを押します。

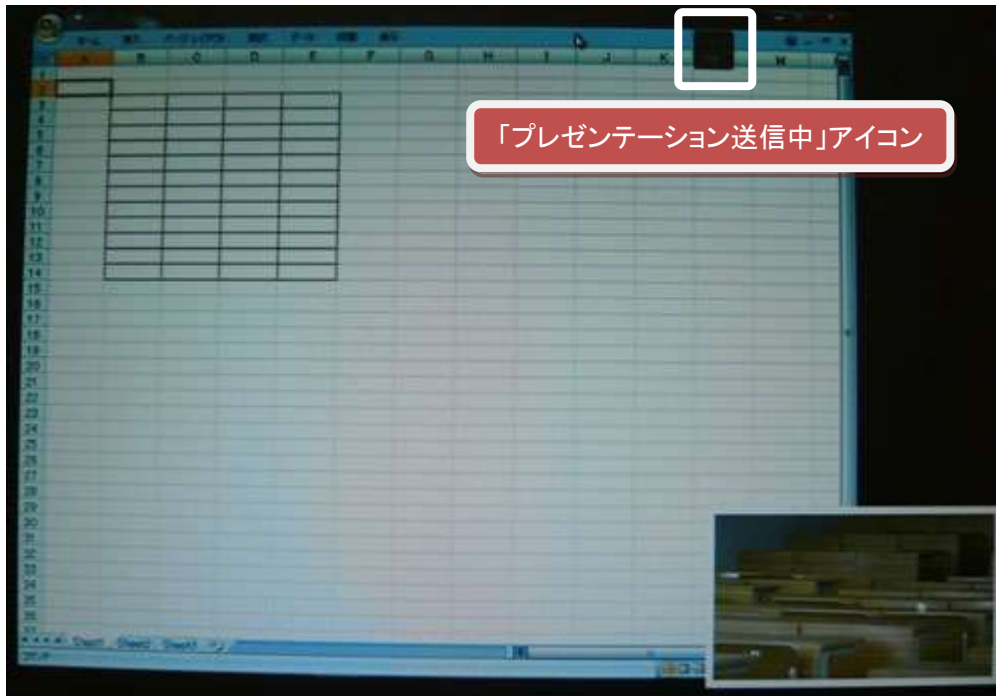
(5) 「保存」を選択してリモコンの「決定」ボタンを押します。

(6) ハンドマイクの音声をミュートにするには、ハンドマイクのボタンを押して切ります。

2.4 プレゼンテーション画像の送信と解除

(1) PC、書画カメラ(OHC)等の画像を相手拠点に送信するには、リモコンの「プレゼンテーション」ボタンを押します。

- (2) 画像を送信中は「プレゼンテーション送信」アイコン(下図)が表示されます。相手拠点も同様に、「プレゼンテーション受信」アイコンが表示されます。



- (3) プレゼンテーション画像を解除するには、再度「プレゼンテーション」ボタンを押します。
- (4) 解除すると「プレゼンテーション送信」アイコンが消えます。

2.5 映像と画像の画面パターン設定

- (1) 映像と画像の画面パターンを設定するには、リモコンの「レイアウト」ボタンを押します。

- (2) リモコンの「矢印」ボタンで「画面パターン」の一覧(下図)から表示パターンを選択して、「決定」ボタンを押します。



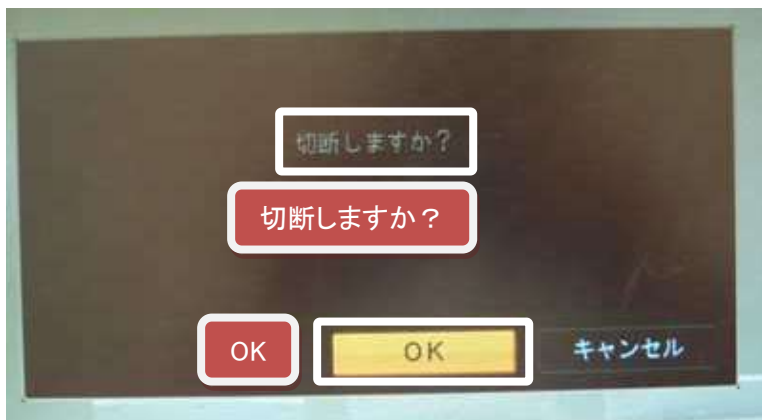
- (3) リモコンの「矢印」ボタンで「保存」を選択して、リモコンの「決定」ボタンを押します。

3. 各大学のシステムの終了

3.1 通信の切断

自拠点と相手拠点の2拠点が通信している場合

- (1) リモコンの「切断」ボタンを押します。
- (2) 「切断しますか？」(下図)と表示されます。

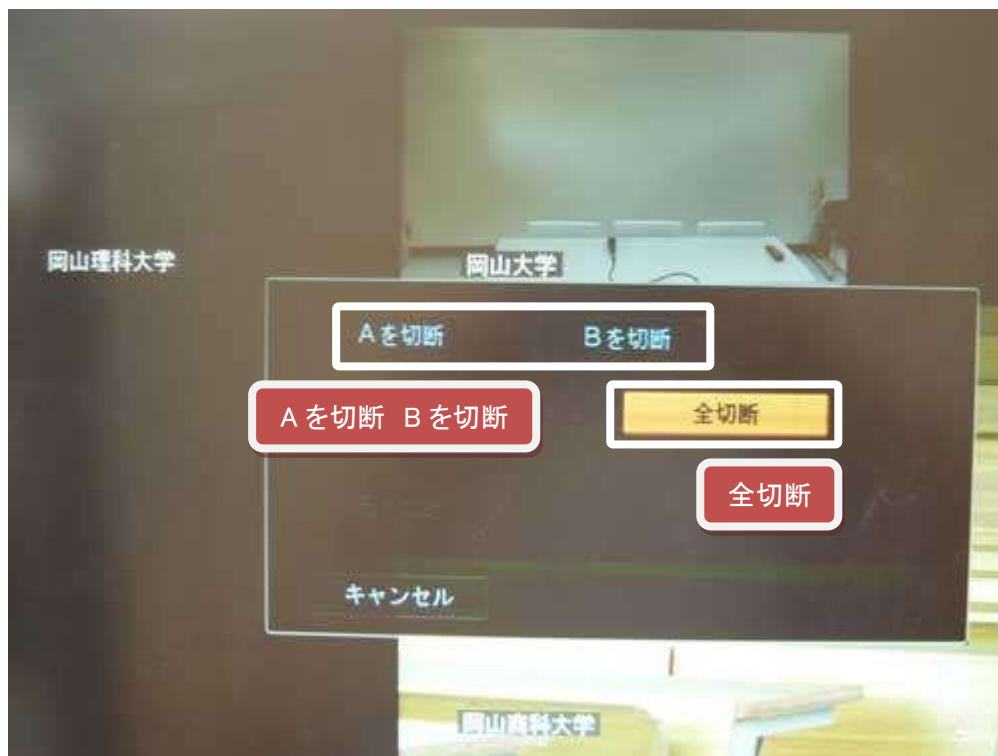


(3) リモコンの矢印ボタンで「OK」を選択して、リモコンの「決定」ボタンを押します。

自拠点と複数拠点が接続されている場合

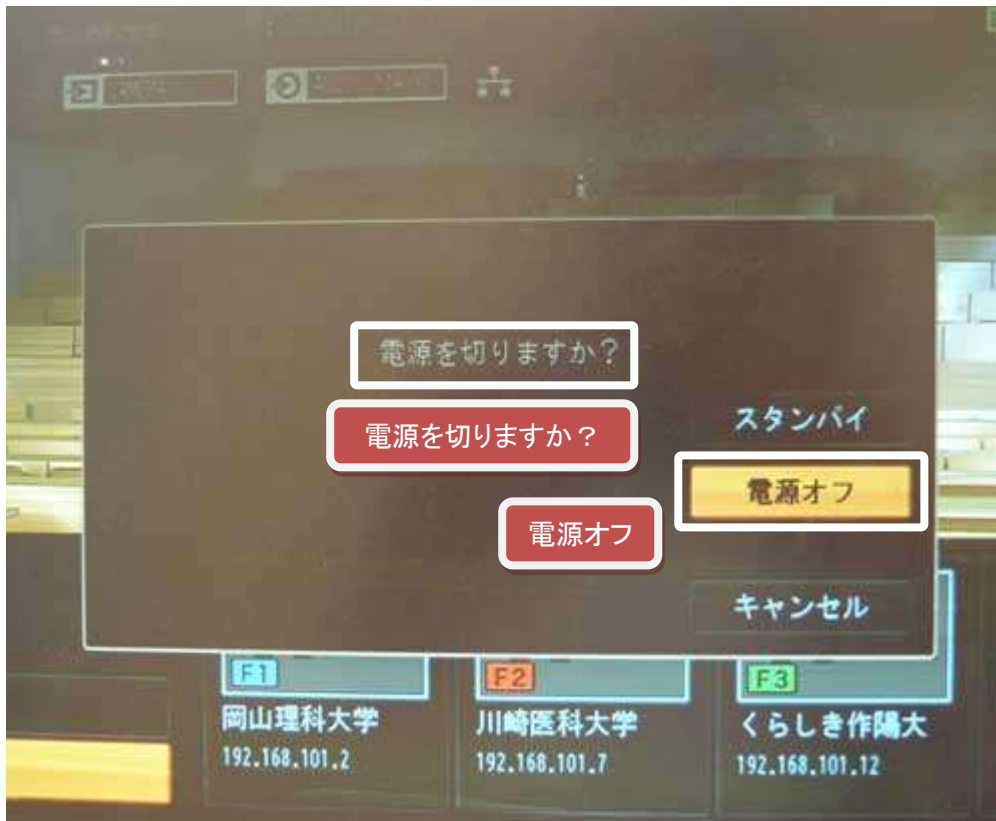
(1) リモコンの「切断」ボタンを押します。

(2) 切断したい拠点名が表示されるので(下図)、リモコンの矢印ボタンで切断したい拠点を
選択して、リモコンの「決定」ボタンを押します。1 度に全拠点切断する場合は、「全切断」を選
択して、リモコンの「決定」ボタンを押します。



3.2 電源を切って終了

- (1) リモコンの「電源」ボタンを押します。
- (2) 「電源を切りますか？」と表示されます(下図)。



- (3) リモコンの「矢印」ボタンで「電源オフ」を選択します。
 - (4) リモコンの「決定」ボタンを押すと、約 1 分後HDビデオ会議システムの電源が切れます。
- ※完全に電源が切れるとHDビデオ会議システム本体正面の電源ボタンのランプが消えます。
- ※通信中は、HDビデオ会議システムとカメラをつないでいるターミナルケーブルを外さないように注意してください。

3.3 電源を切らずにスタンバイモードにする

- (1) リモコンの「電源」ボタンを押します。
- (2) リモコンの「矢印」ボタンで「スタンバイ」を選択します(下図)。



- (3) リモコンの「決定」ボタンを押すと、HDビデオ会議システムの電源が完全に切れずに節電モードになります。

※リモコンの「電源」ボタンを押すと、スタンバイモードは解除されます。

※相手拠点から通信の呼び出しを受けると、スタンバイモードは解除されます。

3.4 周辺機器の電源を切る

PC、書画カメラ(OHC)、スピーカーなど周辺機器の電源を切ります。

4. その他

4.1 音声、ビープ音への対応

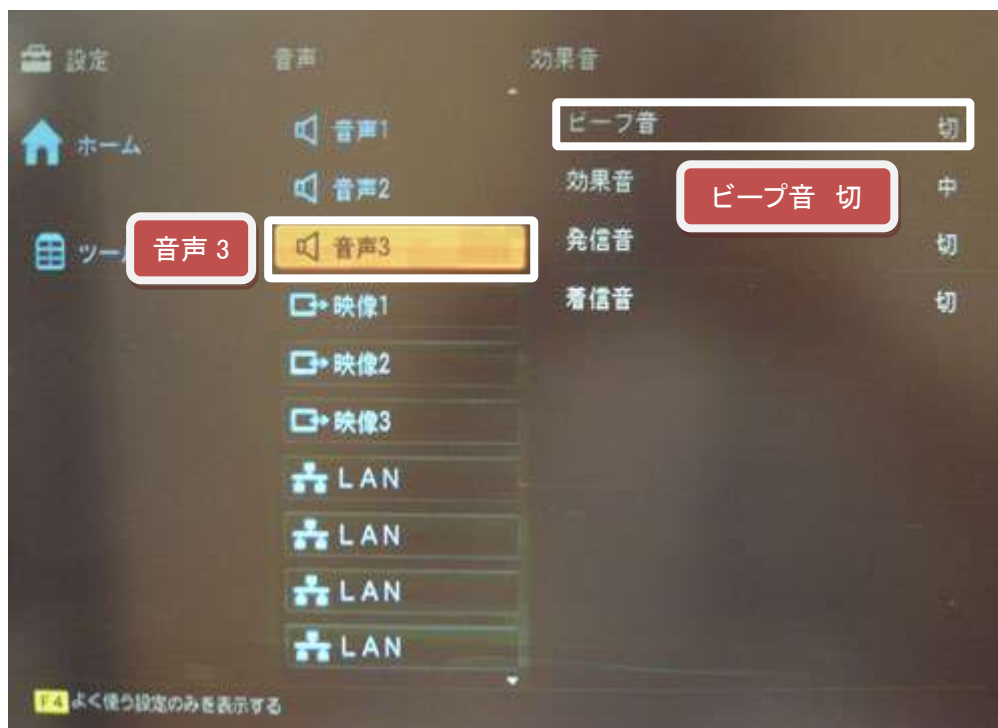
トラブル対応時に備える

音声が届かないなど、トラブルが発生した場合は、31 ページ以降のメッセージボードを活用します。
画像の乱れや明るさ、アングルの調整などはマイクで直接伝えます。

リモコンの「ビープ音」を消す

- (1) リモコンの「ツール」ボタンを押します。
- (2) リモコンの「矢印」ボタンでメニューの「音声 3」(下図)を選択します。
- (3) リモコンの「矢印」ボタンで「ビープ音」を選択します。
- (4) リモコンの「矢印」ボタンで「切」を選択して、リモコンの「決定」ボタンを押します。
- (5) リモコンの「矢印」ボタンで「保存」ボタンを選択してリモコンの「決定」ボタンを押します。

※「ビープ音」の設定は、通信中に行えます。



5. HD ビデオ会議システム Q&A

平成 22 年 8 月まで双方向コンテンツ委員会作成

(Q) 質問		(A) 回答・対策
音声・音量		
1	自拠点の音声が入拠点の環境でループする場合の解決策は。	自拠点のマイクを全て OFF にする。 その状態で相手の声が入拠点に戻る場合は、自拠点の内部で音声が入拠点している。マイクがスピーカーの音を拾っているのではないということ。ミキサーの設定、または結線の問題がある可能性が高い。
2	自拠点の音声が入拠点の環境でループする場合の解決策は。	入拠点のマイクを全て OFF にする。 その状態で自拠点の音声が入拠点に戻る場合は、入拠点の内部で音声が入拠点している。マイクがスピーカーの音を拾っているのではないということ。ミキサーの設定、または結線の問題がある可能性が高い。
3	ビデオ映像の音量が小さくて良く聞こえないと入拠点から意見があった。	ビデオ映像を流す元の音量を上げる。例えば PC から DVD 再生する場合、PC のボリュームコントロールを上げる。次に、マイクミキサーの音量を調整する。
4	ビデオ映像の音量が入拠点へ大きく送出される。	ビデオ映像音声を配信時、自拠点のハンドマイクが ON になっていたため、ハンドマイクは OFF にしておく。
5	自拠点のマイク音声が入拠点でループして聞こえる。	自拠点の音響設定を確認する。
6	分割設定で「音声を検出」モードにしてもかなり大きな声を発声しないと画面が切り替わらない。6 分割画面にしている右下の大きい画面が発声側映像に切り替わるときと切り替わらないときがある。接続した自拠点の画面が一番大きいまま。	ある程度の音量でしばらく話さなければ PCS-XG80 の内部で認識しない。また、入拠点のマイクが ON 状態になっている場合はノイズが多いので、音声検出の判定が正常に行われない場合がある。音声検出を使用する場合の運用としては、発声しない拠点はマイクを OFF にすることが必須。それでも、いのように切り替わらない場合は、話者の声量の問題が考えられる。
7	Full 画面で「音声を検出」で画面切り替えをするには、どうすればよいか。	レイアウトボタンを押し、レイアウトを「Full」に、放送モードを「音声検出」にする。

(Q) 質問		(A) 回答・対策
8	全5拠点接続をしているときに分割設定で「音声を検出」がリストに表示されていないので、選択できないことがあった。	放送モードの「音声検出」は、親機(接続した拠点)操作でのみ選択可能。子機側(接続された拠点)の放送モードには「音声検出」の項目は表示されない。この事象が発生したとき、もしかすると子機として接続していた可能性がある。それ以外の場合で「音声検出」が表示されない場合はない。
9	相手拠点の音声は2秒程ミュートになり聞こえなかった。	原因不明のため、業者に確認連絡する。
10	6分割画面以上が音声検出して画面が切り替わるか。	切り替わる。
映像		
1	自拠点のカメラ映像を送信している際に、自拠点の発言者の映像を小さく表示させるレイアウト設定は？その同様のレイアウトを相手拠点にも送ることができる？	リモコンの「F1」ボタンを押すたびに切り替わる。相手拠点に対しての制御は効かない。
2	1対1の場合は、起動時、相手拠点の映像が一番にFull画面で表示される。	相手拠点の映像がFull画面で表示される。
3	自拠点の画像を送信する時は、自拠点の映像をFull画面で設定してほしいと自拠点から要望があった。	リモコンのレイアウトボタンを押して画面パターンの中からFullを選択する。
4	自拠点の教員・講師が物を持って説明をする時は、ズームインにしてほしいと相手拠点から要望があった。	リモコンのズームボタンで調整する。
画像		
1	プレゼンテーションボタンを押しても送信画像に切り替わらない。モニター上にもプレゼンテーション画像送信アイコンが表示されない。	プレゼンテーションデータ送信中に新たな拠点が加わると、プレゼンテーション機能が効かなくなるので一端切断して、再度接続してからプレゼンテーションデータを送信する。時期は未定だが、将来的にファームウェアのバージョンアップで改善していく見込み。
2	自拠点が相手拠点に接続したが、プレゼンテーション機能が有効にならない。	自拠点が全切断して全接続後、機能が使えるようになった。原因不明のため、再度同様の現象が発生するかどうか確認する。

(Q) 質問		(A) 回答・対策
3	多地点接続時かつプレゼンテーション機能を使用している状態で、ある拠点が切断をすると、プレゼンテーション機能が効かなくなるのか。	プレゼンテーション機能は OFF となり、相手拠点に PC 画面は送られなくなる。そして、親である自拠点側ではプレゼンテーションのアイコン (PC マーク) は表示されたままになっている。プレゼンテーションボタンをおして、一度、プレゼンテーション機能 OFF にし、再度、プレゼンテーション機能を ON にすると PC 画面が送信できる。
4	プレゼンテーション画像と入力切替画像はどちらのサイズが小さくなるか。画質はどちらがよいか。	画質については大差ない。 伝送画面サイズは入力切替で RGB 入力を選択した場合のほうが若干大きく表示される。
5	親である自拠点が入力切替で画像表示にしたものは、相手拠点にも送ることができるか。	できる。
6	レイアウト設定で「B を放送」と「分割で B を放送」の違いは？	B を放送: B 拠点のカメラ映像が全画面 (単画面) で表示される。 分割で B を放送: (6 分割表示の場合) 右下の一番大きいウインドウに B 拠点を表示する。
7	全 3 拠点以上の場合、分割画面が一番に表示される。親である自拠点が一番右下に表示される。	多地点接続をした場合には下記のように画面が埋まっていく。 親である自拠点は最終的に右下の枠に収まる。 4 分割: 左上→右上→左下→右下 6 分割: 左上→中上→右上→左中→左下→右下 多地点接続時に自動的に分割画面に表示を切り替えるかは設定により選択が可能。
8	自拠点を Full 画面で相手に映したいときは、分割設定で、「自分を放送」を選択、または相手拠点は音声ミュートにしておき、「音声検出」を選択して発言すればよいか。	その通り。
その他		
1	分割画面では、アノテーションパッドボタンで開始すると、分割画面上を手書き入力できるか。	できない。分割画面表示時には、自拠点の画面に対してのみ書き込みが可能。
2	ビデオ会議システムの電源を入れるときは、本体のボタンを押す。リモコンのボタンは無効？	本体が「スタンバイ状態」ならばリモコンでの電源ボタンで電源を ON にできる。

(Q) 質問		(A) 回答・対策
3	相手拠点が、メッセージボードをカメラに向けてメッセージを送っていたが、自拠点は気付かなかった。	ビデオ映像を送っている時は、相手拠点が映るよう分割画面の「PinP」レイアウトモードにしておく。
4	AV卓上のPC・テレビ会議システム・OHCなどのスイッチを選択して相手拠点到送しても、リモコンで分割設定やプレゼンテーション送信の操作をしないと相手拠点到送できないのか。	AV卓の選択スイッチを操作するだけでは、選択した映像は相手拠点到送できない。 入力切替でRGBを選択したり、プレゼンテーションボタンを押したときに何の映像を送るかを選んだだけであるので、実際に相手拠点到送するには、入力切替でRGBを選択するか、プレゼンテーションボタンを押す必要がある。
5	カスケード接続方法	親拠点を2つ決めて、1つの親が子に接続する。もう1つの親が子に接続する。最後に親同士が接続する。
6	プレゼンテーション中に、相手拠点の画面上に表示される、「プレゼンテーションモードであることを示すアイコン(インジケータ)を消すことができるか。プレゼンテーションの画面上にかかってしまうため、見えにくい。	設定メニューの「一般3」内の、「インジケータ表示」で、表示する/しないの設定ができる。SONY「HDビジュアルコミュニケーションシステム」取扱説明書 89 ページ参照。

6. 参考資料

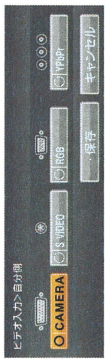
- 6.1 SONY「HD ビジュアルコミュニケーションシステム」リモコン操作ガイド
(28 ページ)
- 6.2 SONY「HD ビジュアルコミュニケーションシステム」ダイレクトダイヤルを使った簡単接続ガイド
(29 ページ)
- 6.3 マイクミキサー音量設定
ボリュームは各大学の音響設定に合わせて赤△と青△を記入して使用します。
INPUT1/INPUT3/OUTPUT1/OUTPUT3 の 4 つのみを使用しますが、若干違う大学もあります。
(30 ページ)
- 6.4 ライブ型遠隔授業の流れとメッセージボード(大学教育連携センター作成)
(31 ページ以降)

リモコン操作ガイド：通信中に使う機能

詳しい操作のしかたは、取扱説明書(付属CD-ROM内)をご覧ください。

入力される映像の切換

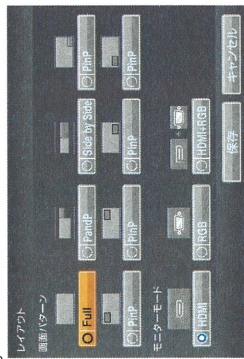
入力切換ボタンを押して、ビデオ入力メニューを表示します。
 上下左右のボタンと決定ボタンで映像入力を呼びます。



CAMERA：CAMERA端子に接続したカメラの映像
SVIDEO：S VIDEO IN端子に接続したカメラや映像機器の映像
RGB：RGB IN端子に接続したコンピューターなどの映像
YPbPr：VIDEO IN YPbPr端子に接続したカメラや映像機器の映像

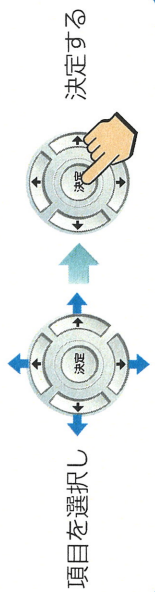
モニターに表示される映像の切換

レイアウトボタンを押してレイアウトメニューを表示します。
 上下左右のボタンと決定ボタンで、相手側の映像と自分側の映像の表示パターンを選びます。



メニューの選択

画面に表示されるメニューの項目を選択し、決定します。

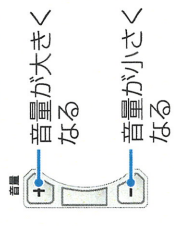


プレゼンテーション画像の送信

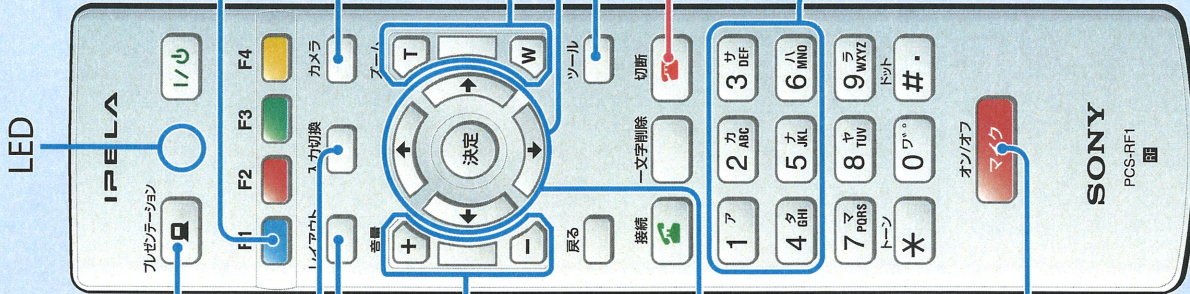
RGB IN端子につないだコンピュータ画像を相手に送信します。



相手の音量の調節

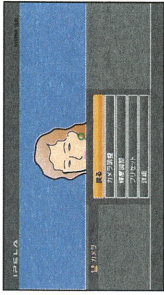


操作するカメラを、自分側カメラと相手側カメラに切り換える



カメラメニューの表示

カメラボタンを押してカメラメニューを表示します。

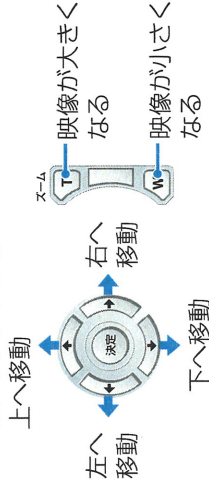


上下左右のボタンでメニュー項目を選び、決定ボタンを押すと選んだ調整用のメニューが表示されます。
カメラ調整：アングル調整やズーム調整をするとき
輝度調整：画面の明るさを調整するとき
プリセット：アングルとズームをプリセット登録したり、プリセット登録した位置にカメラを移動するとき

詳細：フォーカス調整、ホワイトバランス調整、バツクライト機能、デジタルズーム機能、ブライトフェイズ機能、ノイズリダクションフィルタを使うとき

カメラのアングル調整とズーム調整

カメラアングルを



接続を終了して切断する

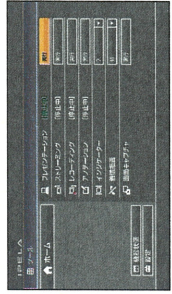


プリセットしたカメラアングルの呼び出し

カメラメニューから「プリセット」を選び、プリセット一覧メニューを表示します。1～6ボタンを押すと、プリセットされた位置へカメラが移動します。

ツールメニューの表示

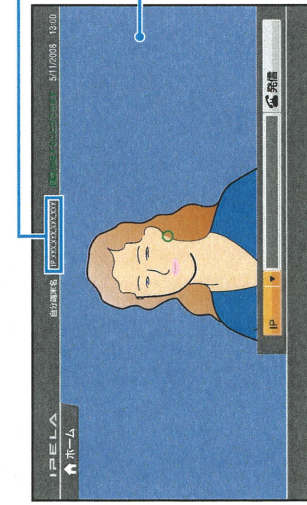
ツールボタンを押してツールメニューを表示します。
 上下左右のボタンでメニュー項目を選び、決定ボタンを押すと、アノテーション機能などを実行できます。



ダイレクトダイヤルを使った簡単接続ガイド

はじめに

HDビデオコミュニケーションシステムとモニターテレビの電源を入れ、相手と接続可能な状態であることをチェックしましょう。



②自分のIPアドレス*、またはISDN回線番号が表示されていますか？

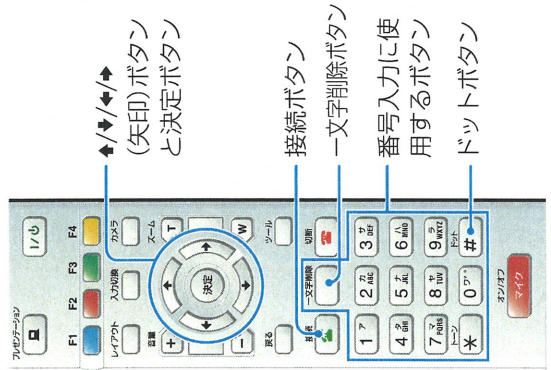
①自分側のカメラ映像が写っていますか？

ご注意： IPアドレス*もISDN回線番号も表示されていないときは、相手と接続できません。

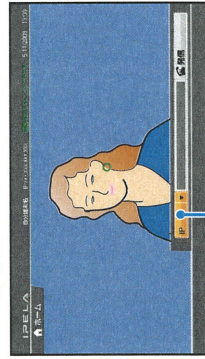
* メニューの設定により、IPアドレスを表示させないこともできます。

チェックが済んだら

接続しましょう

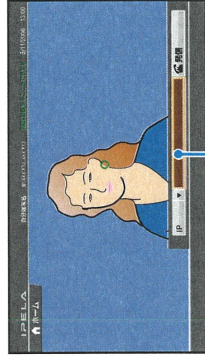


1 「回線種別」を選んで、決定。*



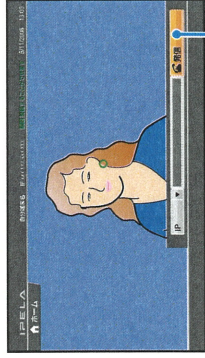
回線種別
使用する回線の種類を選び
決定 押す
* 設定により、回線種別が選択できない場合もあります。

2 「番号入力欄」を選んで、決定。



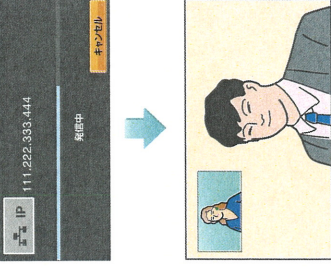
番号入力欄
IPアドレスまたはISDN回線番号を入力
決定 押す

3 「発信」を選んで、決定。



発信
または
決定を押す

接続完了。



通信中に表示される主なインジケーター

FAR 相手側のカメラをコントロール

NEAR 自分のマイクがオフ

プレゼンテーション実行中(送信中)

プレゼンテーション実行中(受信中)

アノテーションで自分がドローイング中

マイクミキサー音量設定

※遠隔講義を始める際には、ミキサーの各ボリュームやスイッチ類を下記図のようにあわせてください。

〈INPUTボリューム〉

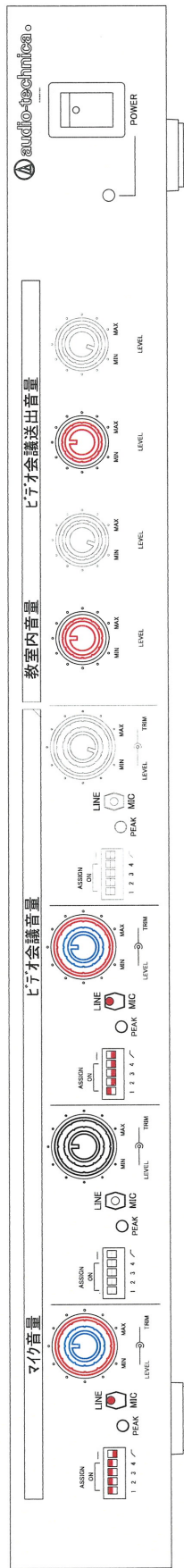
マイク音量 : ワイヤレスマイクの音量を調整できます。
ビデオ会議音量 : ビデオ会議システムを通じてくる、相手拠点からの音量を調整できます。

〈OUTPUTボリューム〉

教室音量 : マイク音量、ビデオ会議音量のマスターボリュームになります。
講義室内スピーカーから出る音量の調整ができます。
このボリュームを上下しても、相手拠点側の音量は変わりません。
ビデオ会議送出音量 : マイク音量のマスターボリュームになります。
相手拠点側へ送る音量調整ができます。
このボリュームを上下しても、講義室内の音量は変わりません。

INPUTボリューム

OUTPUTボリューム



※INPUTボリュームは内側と外側2つのツマミがあります。
内側は青色(▲)、外側は(▲)にあわせてください。

〈音量調整の基本〉

- 自拠点の音声が相手拠点で小さい → 1. 自拠点の「ビデオ会議送出音量」ボリュームを上げる。
2. 相手拠点の「ビデオ会議音量」ボリュームを上げる
- 相手拠点からの音声が自拠点が小さい → 1. 自拠点の「ビデオ会議音量」ボリュームを上げる。
2. 相手拠点の「ビデオ会議送出音量」ボリュームを上げる。

ライブ型遠隔授業の流れ

	配信大学	受信大学
授業前	<ul style="list-style-type: none"> ●テレビ会議システムの電源をONにする。 ●カメラのプリセットを設定する。 ●10分前 配信大学に接続 ●確認事項 <ul style="list-style-type: none"> ・配信大学の映像・音声の確認 ・受信大学の映像・音声の確認 ・プレゼンテーションモードの確認 ・レイアウト（画面パターン、放送モード）の確認 ●授業時間まで待機 	<ul style="list-style-type: none"> ●15分前 テレビ会議システムの電源をONにする ●10分前 配信大学から接続 ●確認事項 <ul style="list-style-type: none"> ・配信大学の映像・音声の確認 ・受信大学の映像・音声の確認 ・レイアウト（画面パターン）の確認 ●授業時間まで待機
授業中	<ul style="list-style-type: none"> ●レイアウト（画面パターン・放送モード）の切り換え <ul style="list-style-type: none"> ・先生+PC → Full等・自分を放送 ・先生のみ → Full等・自分を放送 ・映像のみ → Full等・自分を放送 ・質問・コミュニケーション → Full・分割or 音声検出 ●トラブル対応（メッセージボード等活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ●レイアウト（画面パターン）切り換え <ul style="list-style-type: none"> ・先生+PC → PandP等（PinPは一部不可視部分有） ・先生のみ → Full等 ・映像のみ → Full等 ・質問・コミュニケーション → Full ●トラブル対応（メッセージボード等活用）
授業後	<ul style="list-style-type: none"> ●接続を切断する ●テレビ会議システムの電源をOFFにする 	<ul style="list-style-type: none"> ●切断は配信大学が行う ●テレビ会議システムの電源をOFFにする

ライブ型遠隔授業時の注意（配信大学の授業担当教員向け）

- ・画面の切り換え、画面レイアウト（画面パターン・放送モード）の切り換えを忘れないでください。
- ・マイクの電源入れ忘れ、電池切れ（ワイヤレス式の場合）に注意してください。
- ・受信大学の様子を適宜確認しながら、メッセージボード等トラブルレットまたはPCのマウスを使って提示してください。
- ・レーザーポインターは受信大学には見えませんので、ペンタブレットまたはPCのマウスを使って提示してください。
- ・PowerPoint作成時、「黄色背景+白文字」の組み合わせは、学生が見えにくい場合がございますので、極力使用は控えてください。





トラブル・症状

相手の音声がまったく聞こえない

共通

そちらの音声が
全く聞こえません

organon



トラブル・症状

相手の音声が小さく、聞き取れない

共通

そちらの音声が
小さく
聞き取れません



トラブル・症状

相手の音声がかえらない（雑音が入る場合）

共通

そちらの音声がかえりません
（イヤズがします）





トラブル・症状

相手の映像が見えない（こちらの映像は送信できている可能性がある場合）

共通

そちらの映像が
見えません
音声は聞こえます





トラブル・症状

カメラの撮影する方向が変わっていない

共通

カメラのアングルを 切り換えてください



トラブル・症状

相手にこちらの音声が聞こえているか確認する

共通

こちらの音声は
聞こえていますか？
(小さいですか？)



トラブル・症状

相手にこちらの映像が見えているか確認する（通常は体の動作等で行う）

共通

こちらの映像は 見えていますか？



トラブル・症状

カメラ（教師・学生等）画面とパソコン画像が切り替えられない

受信大学用

画面が 切り換わって いきません



トラブル・症状

教員が話をしている時に、画面レイアウトが分割画面で表示されていて、教員の映像だけに切り換えてほしい

受信大学用

放送モードを
「自分を放送」に
切り換えてください





トラブル・症状

教師がレーザーポインタを使用して説明をしているが、ポインタの位置が分からない

受信大学用

レーザーポインタ
が見えません

SONY PCS-XG80

HD ビデオ会議システム 操作説明書

制 作：岡山オルガノン 双方向コンテンツ委員会

説明書に関するお問い合わせ先：

岡山オルガノン 岡山商科大学オフィス
〒700-8601 岡山市北区津島京町 2 丁目 10-1
TEL. 086-256-6670 FAX. 086-256-6656
E-mail shodai@okayama-organon.jp
URL <http://okayama-organon.jp/>

MCU 接続方式 テレビ会議システム 操作説明書

[配信大学(議長)専用]



SONY PCS-VCS ver.4.2.1

2011.03 Version.1

目次

1. はじめに	1
1.1 ルーターについて	1
1.2 接続について	1
1.3 ログイン アカウントについて	1
2. 「分割画面表示(固定)」で配信する場合	2
2.1 講義室に接続(入室)	2
2.2 PC を使って講義室の管理画面にログイン	4
2.3 配信する講義パターンを選択	5
2.4 受信大学の呼び出し	6
2.5 発言の許可	7
2.6 分割画面の配置変更	8
2.7 受信大学の切断	9
2.8 管理画面の更新	9
2.9 配信大学の切断	10
2.10 管理画面のログアウト	10
3. 「1画面表示(固定)」で配信する場合	11

多地点接続を可能 としたHD多地点ビデオ 会議サーバー (MCU)

岡山オルガノン連携校15
大学を同時接続してお互
いの映像、音声、画像をハ
イビジョンで配信するため
の操作をスムーズに行うた
めの操作説明書です。

※MCU(Multi point control
Unit)は多地点間の音声合
成や音声反応型映像切り
替えなどに対応し、ミーティ
ングの作成、予約、編集な
どの集中管理を行うことが
できます。

1. はじめに

本説明書で説明している接続方法は、多地点接続装置(以下「MCU」と呼びます)通信方式を使用し、配信大学(議長)が操作する方法を説明しています。

MCUを使用して配信するためには、パソコンを1台用意してテレビ会議システムと同じインターネット環境(B フレッツ)に接続する必要があります。

1.1 ルーターについて

B フレッツに接続して MCU 管理画面にアクセスするには、新たに導入したギガビット VPN ルーターの背面にある LAN ポート(いずれの空きポートでも可)に LAN ケーブルを差し込み、パソコンと接続することにより使用が可能となります。

本説明書は、下記(1)と(2)の 2 パターンの講義室(ミーティングルーム)のいずれかに入室して講義を配信する方法について記載しています。

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| (1) 分割画面表示(固定) | [プレゼンテーションタイプ・オープンモード・議長制御] |
| (2) 1 画面表示(固定) | [プレゼンテーションタイプ・オープンモード・議長制御] |

その他、「分割画面と 1 画面の切り替え[プレゼンテーションタイプ・レクチャーモード・議長制御]」を操作できるパターンがありますが、画面構成に制限があります。

詳しくは岡山商科大学オフィスまでお尋ねください。

1.2 接続について

開設されている講義室には、いつでも接続や切断ができます。

通信中は、上記 2 パターンの講義室を切り替えできません。まず接続されている受信大学および配信大学(議長)を全切断して、再度共有アドレス帳から講義室を選択して入室します。

1.3 ログイン アカウントについて

管理画面にログインするためのログイン名は変更できません。パスワードはログイン後、メニューの「個人設定」ページで変更できますが、変更後のパスワードは大切に保管してください。万が一、パスワードを忘れた場合は大学教育連携センターまでご連絡ください。

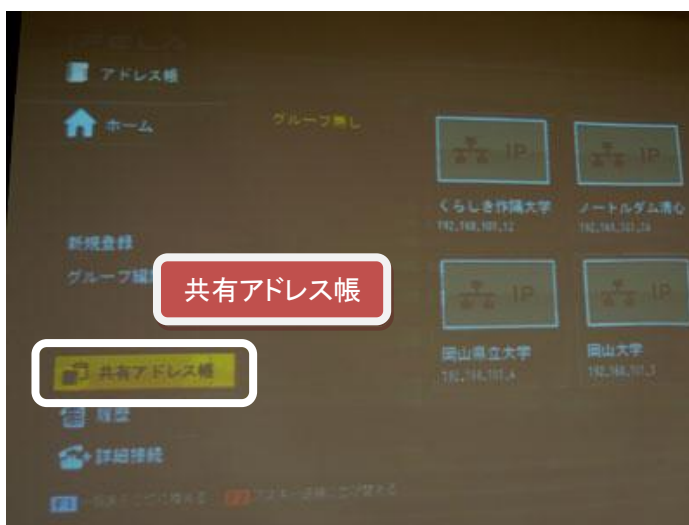
2.「分割画面表示(固定)」で配信する場合

2.1 講義室に接続(入室) [テレビ会議システムのリモコンを使用]

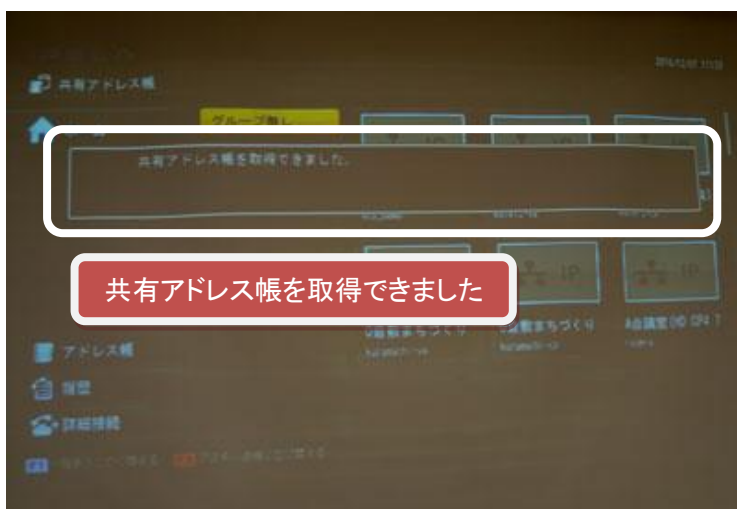
(1) リモコンの「矢印」ボタンで「接続」を選択して(下図)、リモコンの「決定」ボタンを押します。



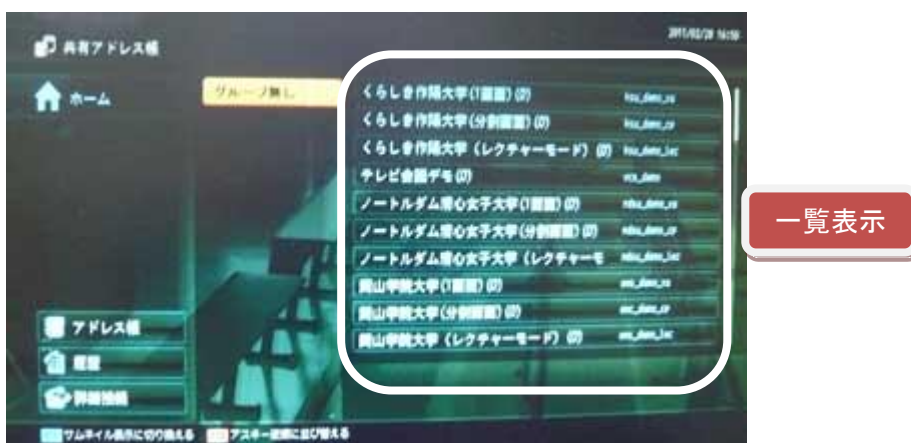
(2) リモコンの「矢印」ボタンで「共有アドレス帳」を選択して(下図)、リモコンの「決定」ボタンを押します。



(3) “共有アドレス帳を取得できました”と表示され(下図)、MCU につながり、講義室に接続できました。



(4) テレビ会議システムのリモコンの「F1」ボタンを押して、一覧表示(下図)に切り替えます。リモコンの「矢印」ボタンで自分の大学名の講義室「〇〇大学(分割画面)」(例)を選択して、入室します。



(5) 自分の大学名の講義室「〇〇大学(分割画面)」(例)に入室(下図)し、講義に参加する準備ができました。



2.2 PC を使って講義室の管理画面にログイン

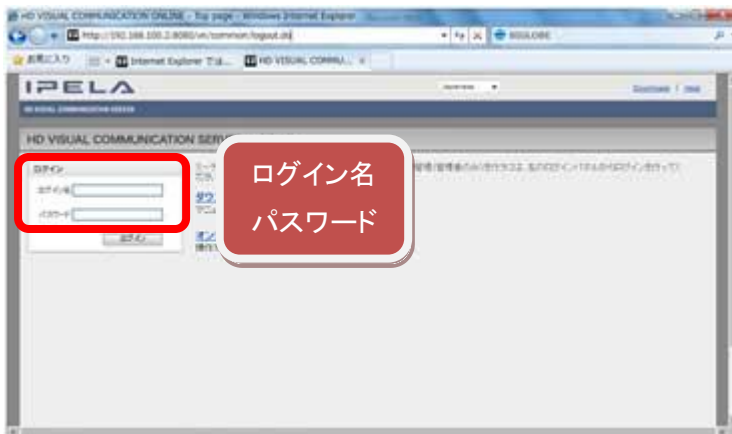
※ PC はテレビ会議システムと同じ回線の B フレッツに接続します。

(1) Internet Explorer を起動します。

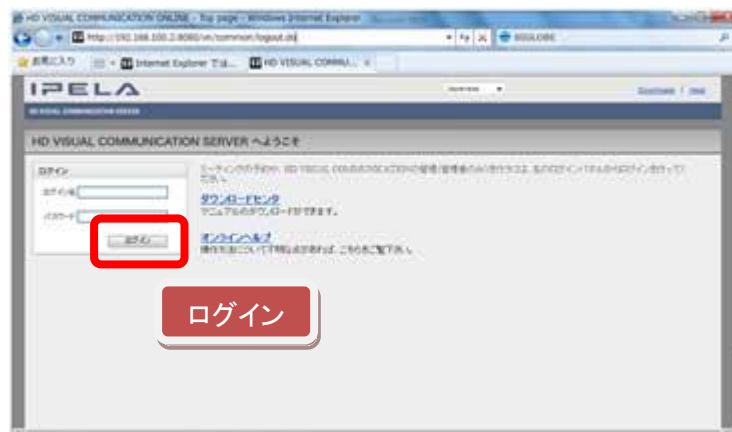
(2) Internet Explorer の「アドレス」欄(下図)に「http://192.168.100.2:8080」を入力します。



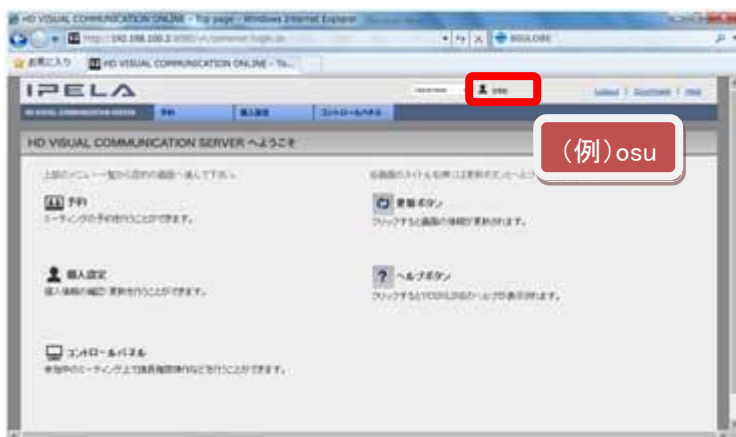
(3) 「ログイン名」と「パスワード」欄(下図)に、ログインする各大学のログイン名とパスワードを入力します。



(4) 「ログイン」ボタン(下図)をクリックしてログインします。

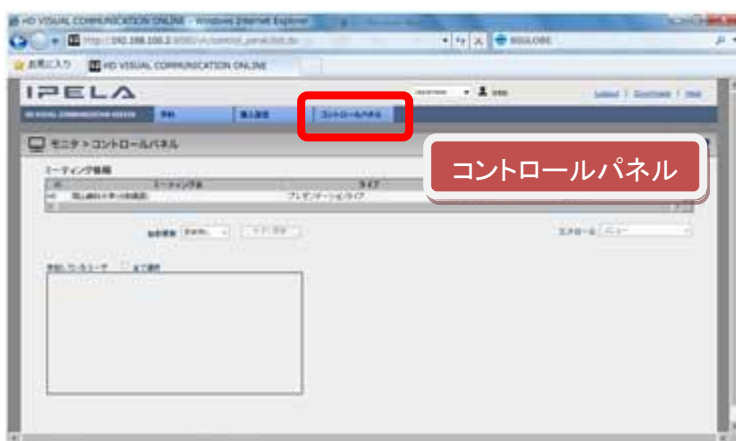


- (5) 講義室を管理するページにログインできました。画面上にログインしたユーザ名が表示されます(下図)。



2.3 配信する講義パターンを選択

- (1) メニューの「コントロールパネル」をクリックします。



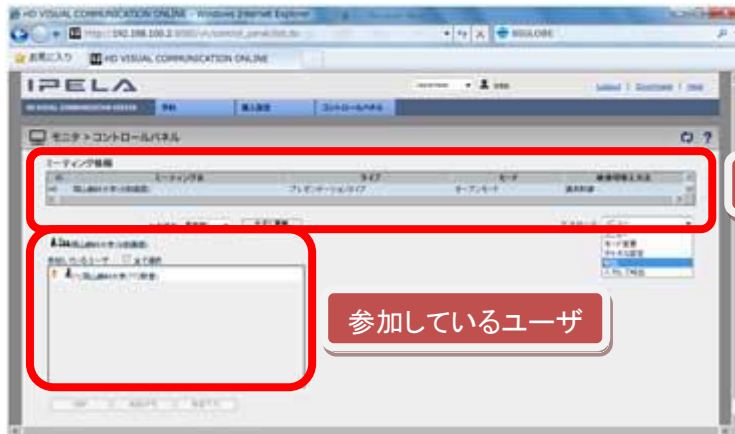
- (2) 「ミーティング情報」欄(下図)から、登録されている各大学の 2 パターンのいずれか(「分割画面」または「1画面」パターン)の講義室をクリックして入室します。



※ 表示枠が小さく 1 つの講義室しか見えないため、右側のスクロールボタン(上図)をクリックして 3 パターンの講義室を確認します。

※ 入室できるのは、最初に共有アドレス帳から選択して入室した同じ講義室のみです。

- (3) 最初に共有アドレス帳から入室した講義室「〇〇大学(分割画面)」(例)を「ミーティング情報」欄からクリックすると、「参加しているユーザ」欄に自分の大学名が表示されます。

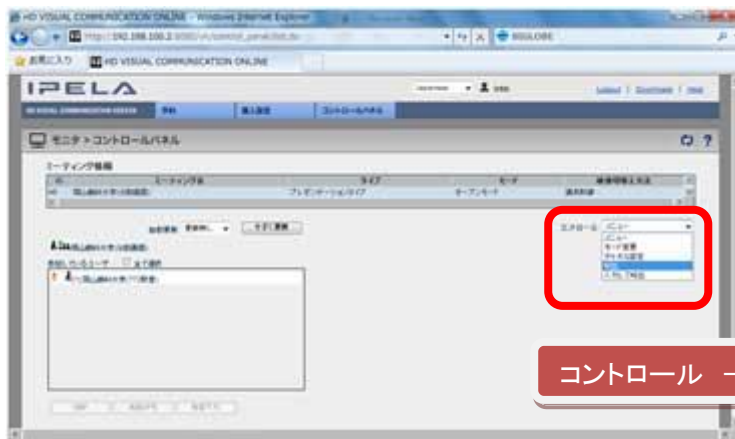


(例) 岡山商科大学デモ(分割画面)

参加しているユーザ

2.4 受信大学の呼び出し

- (1) 画面右の「コントロール」リストから「呼出」をクリックして、講義を受信する大学を呼び出します。



コントロール → 呼出

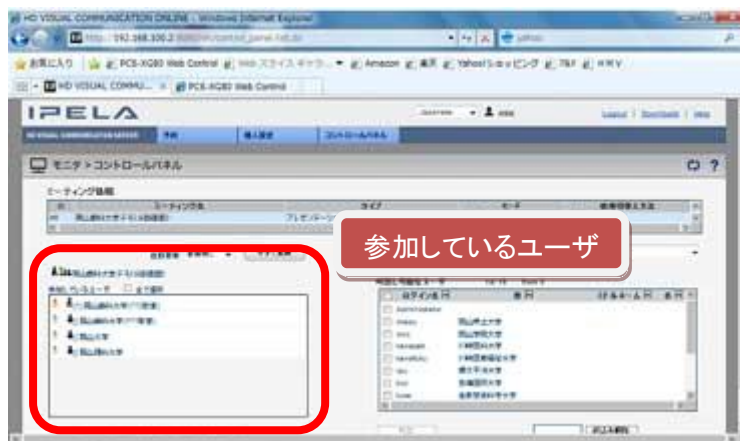
- (2) 「呼出し可能なユーザ」リスト(下図)から、大学名の左側のチェックボックスをクリックして、受信する大学を選択(複数選択可)して、「呼出」ボタンをクリックします(下図)。



呼出し可能なユーザ

呼出

- (3) 「参加しているユーザ」リスト(下図)に呼び出した受信大学が表示されます。表示されていない場合は、「今すぐ更新」のボタンを押すと最新の情報が表示されます。



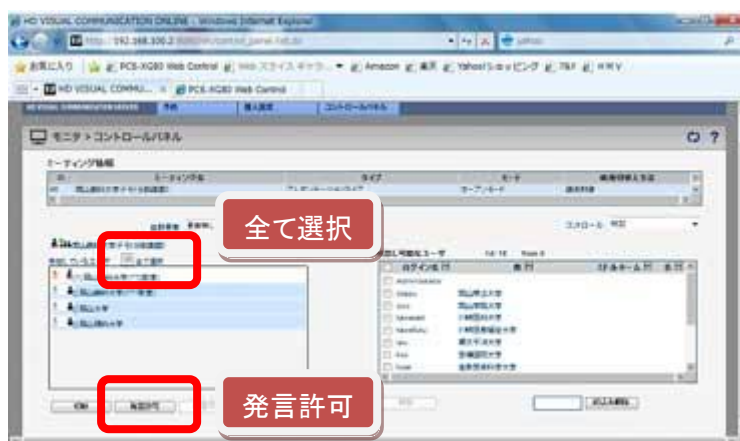
- (4) テレビ会議システムの映像モニター(スクリーン)には全大学が分割画面(下図)で表示されます。

※ 接続直後は、配信大学(議長)が一番左上に表示されます。

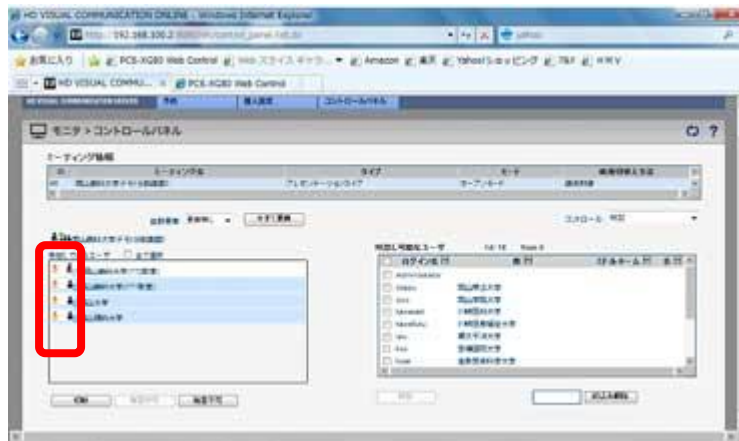


2.5 発言の許可

- (1) 「全て選択」のチェックボックス(下図)をクリックして、参加している全ユーザを選択し、「発言許可」ボタン(下図)をクリックします。

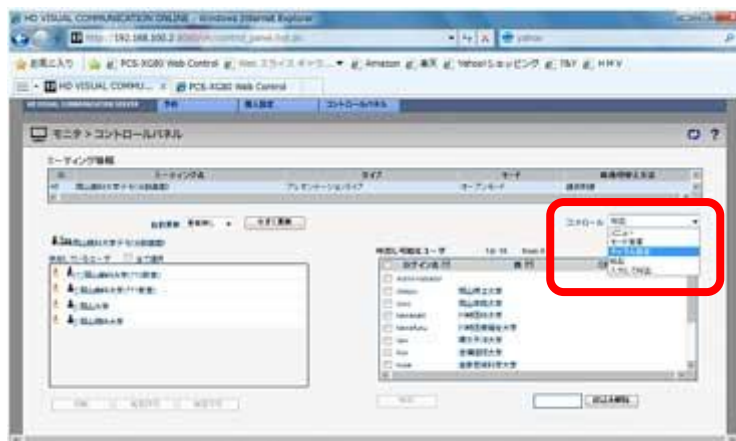


(2) 「参加しているユーザ」リストの「マイク」アイコン(下図)がカラーになり、会話できる状態になります。



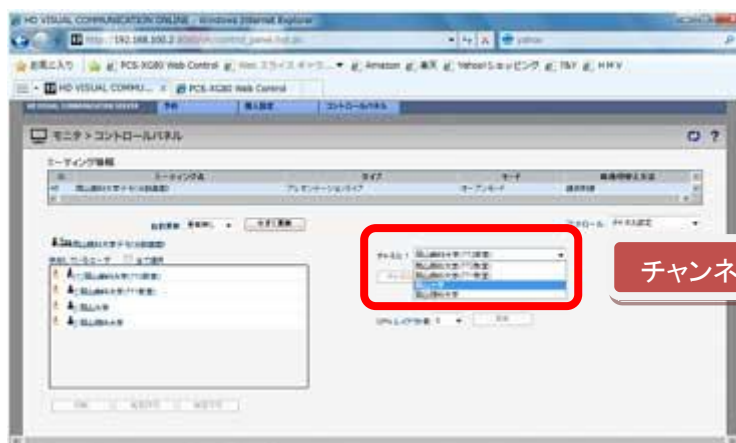
2.6 分割画面の配置変更

(1) 発言する大学を分割画面の一番左上に表示させるために、画面右の「コントロール」リスト(下図)から「チャンネル設定」をクリックします。



コントロール → チャンネル設定

(2) 「チャンネル 1」リストから大学を1つ選択します。左の「参加しているユーザ」リストの「[1]」の表示が切り替わります。



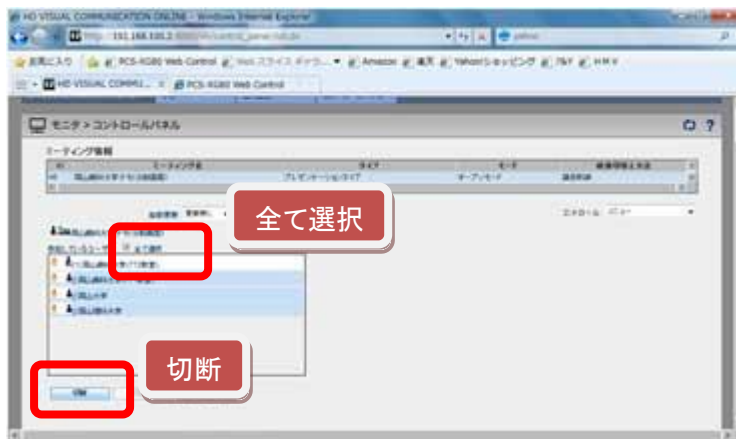
チャンネル 1

(3) 選択した大学の映像が、一番左上に配置変更されました。



2.7 受信大学の切断

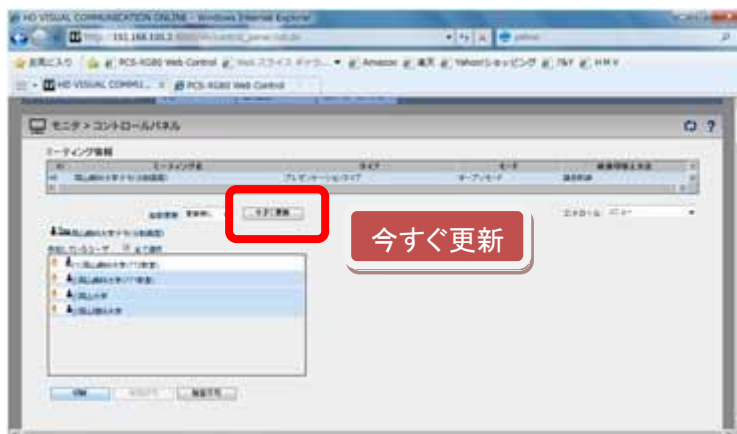
(1) 「参加しているユーザ」リストから切断する受信大学を選択してクリックして、「切断」ボタン(下図)をクリックします。または全受信大学を一斉に切断する場合、「全て選択」のチェックボックス(下図)をクリックして、「切断」ボタンをクリックします。



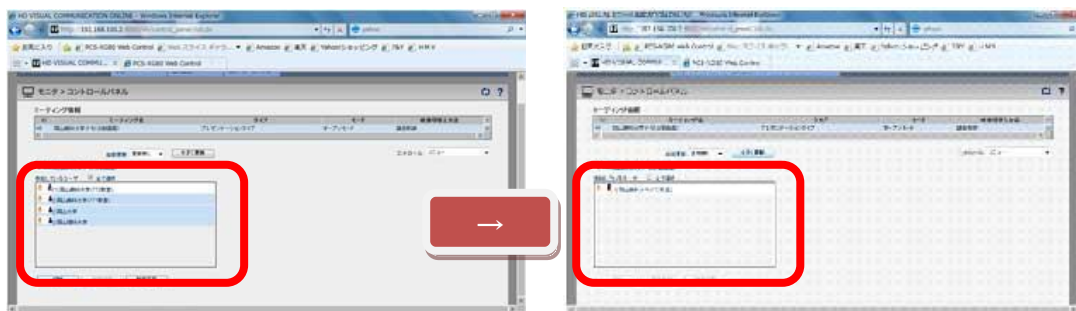
※ 受信大学は通信中、テレビ会議システムのリモコンを使用して、切断することができます。

2.8 管理画面の更新

(1) 管理画面で設定等を変更した場合、ページ更新は手動表示に設定されています。変更後の画面をすぐに確認するには、「今すぐ更新」(下図)をクリックします。



- (2) 例えば、受信大学を切断後、「今すぐ更新」ボタンをクリックすると、「参加しているユーザ」から切断した受信大学が消えます。



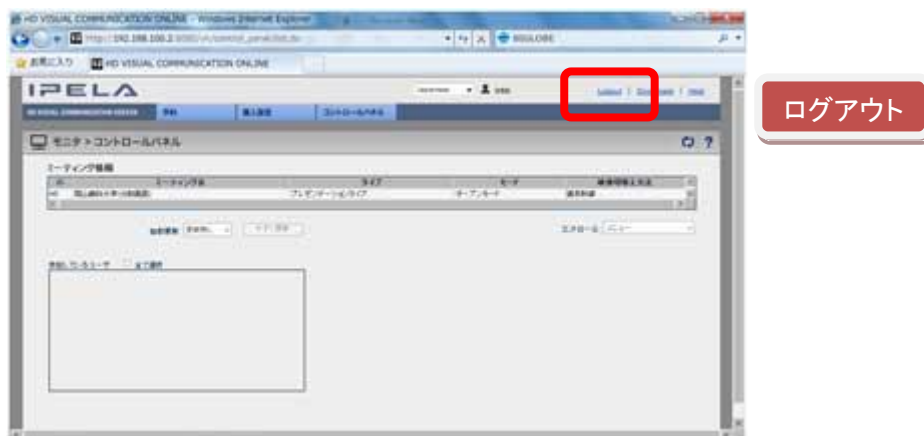
2.9 配信大学の切断

- (1) 配信大学自身は管理画面から切断ができないため、テレビ会議システムのリモコンを使用して切断します。

※必ず受信大学を全て切断してから、最後に配信大学(議長)が切断します。

2.10 管理画面をログアウト

- (1) MCU の管理画面を終了するには、画面右上の「Logout」(下図)をクリックして、アカウントをログアウトします。



3. 「1 画面表示(固定)」で配信する場合

- ・ まず、テレビ会議システムのリモコンで自分の大学名の講義室「〇〇大学(1画面)」(例)に入室してから行ってください。
- ・ 主な操作方法については、2 ページの「(1)分割画面表示(固定)で配信する場合」を参考にしてください。
- ・ 配信する映像画面を受信大学のカメラ映像に変更する場合は、配信大学(議長)が手動で「チャンネル設定」による変更を行います。

以 上

SONY PCS-VCS ver.4.2.1
MCU 接続方式
テレビ会議システム 操作説明書

制作：岡山オルガノン 双方向コンテンツ委員会

説明書に関するお問い合わせ先：

岡山オルガノン 岡山商科大学オフィス
〒700-8601 岡山市北区津島京町 2 丁目 10-1
TEL. 086-256-6670 FAX. 086-256-6656
E-mail shodai@okayama-organon.jp
URL <http://okayama-organon.jp/>